



## 広島県 ゼロカーボンシティ宣言

令和2年10月、「2050年カーボンニュートラル」が宣言されて以降、国においては、その実現に向けて、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の策定や「国・地方脱炭素実現会議」の開催などにより、「経済と環境の好循環」を目指した取組について、国を挙げて強力に推し進められています。

こうした中、広島県は、カーボンが様々な形で存在し、自然界や産業活動の中で循環し、持続的に共生できる社会経済「カーボン・サーキュラー・エコノミー」の実現を目指しています。

広島県は、これまでの省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入促進に加え、二酸化炭素を建設資材や燃料等の原材料として再利用する取組や農林水産業における利用、石油由来プラスチックからの代替促進などにより、環境と地域経済の好循環を図りながら、SDGsへも貢献することで、日本のみならず世界から注目を集めるような広島型カーボンサイクル構築の取組を推進していきます。

このため、2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して、県民、事業者など多様な主体が一緒になって取組を進められるよう、「みんなで挑戦 未来につながる 2050ひろしまネット・ゼロカーボン宣言」を行います。

令和3年3月18日

広島県知事 **湯崎英彦**